

2024 クリーンアップ作戦「ゴミ探検 DX」活動報告

～私たちが住む町から出たゴミはどこへ行くの？～

■ ゴミ探検(11月3日)に向けての出前授業 10月16日(水) 大関小学校

◎川のワーク「ちりもつもれば」

大関小5、6年の児童一人ひとりが「川のある自分の町を100億円で造ろう」のお題を基に紙に思い思いの町を描きました。その町をつなげて、竹田川など福井県の主要な7つの河川を造りました。ゴミが発生しやすい場所(公園やショッピングモールなど)に、ゴミに見立てた間伐材を置いてみました。ゲリラ豪雨の発生で自分たちの作った町の河川の上流からゴミが下流へ流れていく様子を再現。ゴミは九頭竜川の河口に溜まり海へ流れていくというシミュレーションをしました。

◎グループでふせんワーク

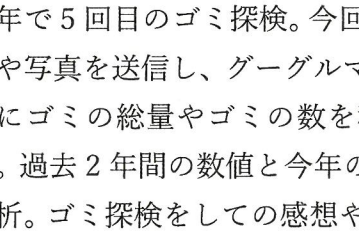
ポイ捨てしやすいところは？誰がどんなゴミを捨てる？どんなメッセージだとポイ捨てしにくい？などを話し合い、グループごとに発表しました。

◎ふりかえりでは…

- ・楽しかった(難しかった)ことは？……「100億円で町をつくったこと」「みんなで考えて書くこと」etc.
- ・学んだことは？……「プラスチックが人体に影響すること」「まちと海はつながっていること」etc.
- ・興味がわいたことは？……「まちづくりをすること、課題を見つけること」「ゴミのリサイクル」etc.

■ 幼保・小・中と地域住民約60人でゴミ探検 DX 11月3日(日・祝) 大関コミセン

今年で5回目のゴミ探検。今回もLoGoフォームでゴミの種類や写真を送信し、グーグルマップ上で情報を共有。コース毎にゴミの総量やゴミの数を種類別に集計したグラフも作成。過去2年間の数値と今年の結果から、ポイ捨ての現状を分析。ゴミ探検をしての感想やどうしたらゴミを捨てなくなるかなどをグループで話し合いました。話し合いでは「ルールを作る」「啓発活動をする」「道路の草刈りなどをして景観をよくする」などの提案や「無駄に買いすぎない」「環境についてのセミナーを聞く」など一人ひとりの意識変革を促す意見もありました。



ゴミ探検後に参加者からいただいた感想

- ・初めて参加させていただきましたが、思っていたよりもたくさんのゴミがあり、びっくりしました。ポイ捨てをなくすためには、やはり1人ひとりの意識を高めることが1番大切だと思います。
- ・今日、ゴミ探検をして分かったことは、たばこのゴミが多いことです。たばこは年々増え続けているので、ポスターを作ったり、みんなで呼びかけを出来たらいいなと思いました。
- ・5年間の積み重ねが、いろいろな成果となってあらわれていると思います。どこでゴミをストップさせるのか、子どもも大人も真剣に考えていかななくてはならないと思いました。
- ・看板にゴミ捨て禁止と書いているのに平気でゴミが捨てられていました。大人の心にはびびかないのかなと思いました。ゴミのポイ捨てはとても環境に悪いということを知らせたいと思いました。etc.

R6
調査結果

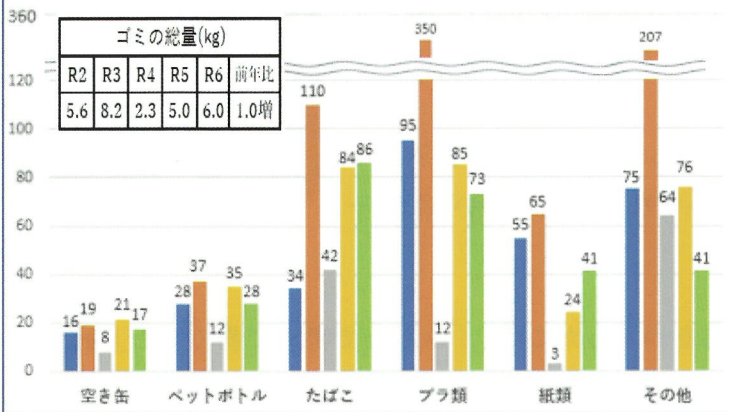


コース毎のゴミの総量と種類別集計

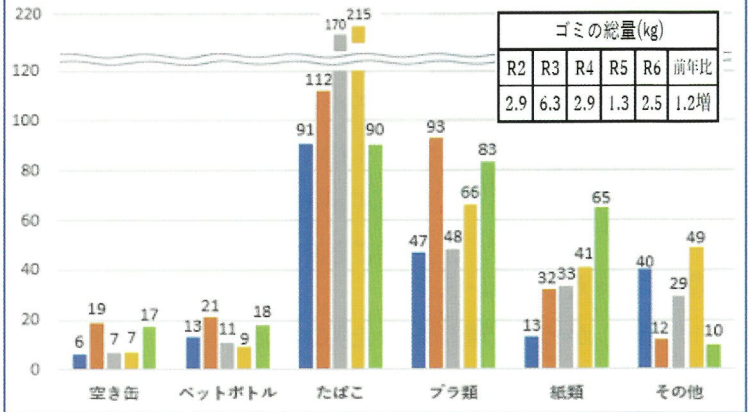
■ 令和2年 ■ 令和3年 ■ 令和4年 ■ 令和5年 ■ 令和6年

※調査コースに加え、坂井きらめき施設周辺のゴミ拾いも実施

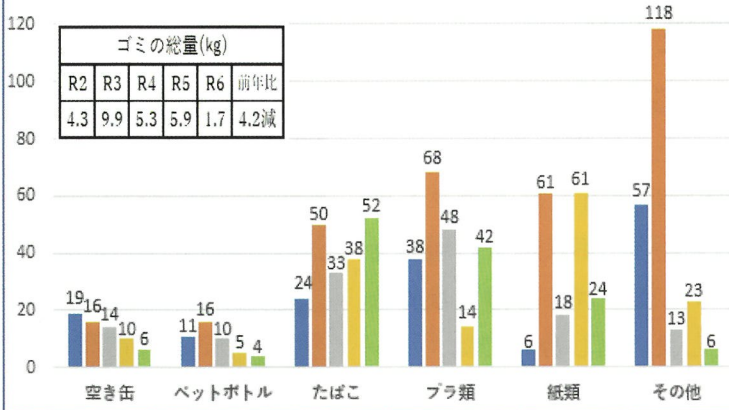
上関コースA



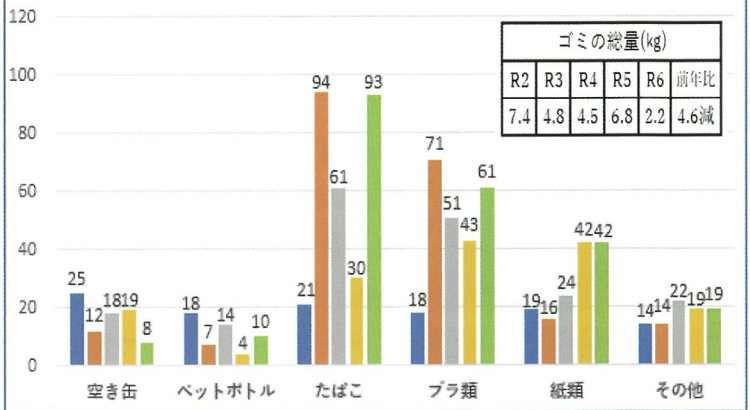
上関コースB



東コース



西・東中野コース



【協力団体】 大関小学校、坂井中学校、福井県立大学、大関小学校PTA、大関地区区長会、青少年育成坂井市民会議大関支部 県民せいきょう坂井きらめき、スマイルネットワークさかい、坂井市(市民協働課、環境推進課、情報統計課 DX 推進室)、大関コミュニティセンター、大関まちづくり協議会

令和2年から始めた「ゴミ探検」も今年で5回目。小学3年生のときから参加している子が今は中学1年です。子どもたちから大人まで、たくさんの方の御協力で、このゴミ探検を通して環境保護への意識が高まってきているように感じます。子どもたちからは、大人に対して「ゴミを捨てないでほしい」という声が毎年あります。私たち大人の意識変革が大事であることを痛切に感じました。ゴミ削減に向けてさらにバージョンアップしていきます！

